

令和3年度 木造住宅の耐震リフォーム達人塾【オンライン版】 講習内容

講義名	講義概要
第①講 建築士・設計士の役割と7つの鉄則 (65分)	地域の住宅耐震化のために建築士・設計士・大工が担うべき役割とその具体的な内容を「7つの鉄則」の形で分かりやすく伝授します。
第②講 低コスト耐震補強の手引き解説 (75分)	安価な耐震改修工法が紹介されている愛知建築地震災害軽減システム研究協議会発行の「木造住宅低コスト 耐震補強の手引き」を徹底解説します。
第③講 ネットワークの重要性と行政の役割 (35分)	木造住宅の耐震改修に関わる関係者間のネットワーク構築と行政の役割について、耐震改修先進県の取り組みを紹介しながら解説します。
第④講 実例で学ぶコストダウンの隠しワザ (65分)	耐震改修工事の実例に基づき、診断精度向上の重要性、耐震改修専用工法施工のノウハウなど、実務で超役立つ情報をわかりやすくご紹介します。
第⑤講 住宅所有者への説明技術 (45分)	どんなに工事費が安くても、家主の決断がなければ耐震改修は実現しません。家主が耐震改修を決心するために必要な安全・安心の説明技術について、具体的に解説します。
第⑥講 精算法、偏心率計算、N値計算の基礎 (25分)	診断精度を上げるために必要な3点セット(精算法、偏心率計算、N値計算)の概要と考え方について構造力学の基礎からわかりやすく解説します。
第⑦講 手計算で理解する精算法、N値計算法(初級編) (35分)	精算法とN値計算法について、基礎的な例題を手計算で解くことによって理解します。
第⑧講 手計算で理解する精算法、N値計算法(応用編) (75分)	精算法とN値計算について、実践的な例題を手計算で解くことによって理解を深めます。また、診断ソフトを使わずに合理的に計算するためのワザも公開します。
第⑨講 耐震診断・設計プログラムの操作方法と要点 (15分)	耐震診断プログラム「達人診断」(無料体験版)を用いて、住宅データの入力方法、改修設計の基本操作方法等を演習するとともに、診断ソフト活用のノウハウを公開します。
第⑩講 設計演習課題(1)+達人案解 (60分)	平屋の住宅の例題に取り組み、耐震改修設計の基礎を演習します。
第⑪講 設計演習課題(2)+達人案解説 (60分)	2階建ての一般的な既存不適格住宅を対象とした設計演習課題を通して、耐震改修設計の基礎から応用を系統的に習得します。
第⑫講 設計演習課題(3)+達人案解説 (55分)	種々の耐震改修専用構法を駆使して、2階建ての店舗共同住宅の高難易度耐震改修例題に挑戦します。より高いスキルを習得するためのチャレンジ演習課題です。
第⑬講 木造住宅の施工品質と耐震性能 (20分)	構造用合板に留め付ける釘の位置と打ち方が耐力壁の耐震性能に及ぼす影響を理解し、施工品質が住宅の耐震性能に与える影響が少なくないことを学びます。
第⑭講 施工者として知っておきたい補強設計のポイント (55分)	耐震改修設計を施工者の立場から考えることで、施工者として知っておきたい設計の考え方やポイントを、具体例を通して習得します。
第⑮講 住宅の安全・安心について(30分)	建築物の安全・安心をどのように考え、どのように伝えていくべきかをリスクの考え方を使って学びます。
第⑯講 低コスト工法の隠しワザを現場で完全実演 (45分)	安価に耐震改修を実現させるための必須技術である低コスト工法を施工するための様々な隠しワザを豊富な現場写真・映像を通して徹底的に解説します。
第⑰講 改修設計の疑問すべて解決! 達人テクニックQ&A (25分)	耐震改修設計に関する設計士からの疑問に達人たちがズバリ答えます。
第⑱講 改修現場の疑問すべて解決! 達人テクニックQ&A (20分)	耐震改修施工に関する現場からの疑問に達人たちがズバリ答えます。

※お申し込み頂いた全受講者が全講義をご視聴頂けます。

受講モデルコース	講習プログラム
1. ベーシックコース	①～④を中心に受講し、理解が進んだらアドバンストコースにステップアップして下さい。
2. アドバンストコース	①～⑥を受講し、⑦、⑧の演習に取組んで下さい。その後、必要に応じて⑨の操作方法を習得してから⑩、⑪の設計演習課題(1)(2)に挑戦して下さい。
3. エキスパートコース	「1.ベーシックコース」、「2.アドバンストコース」と⑮をご受講の上、⑪、⑫の設計演習課題(2)(3)に挑戦して下さい。
4. 施工演習コース	⑬、⑭、⑮、⑯、⑰を視聴いただき、業務との関連・興味があれば、ベーシックコースもご覧下さい。
5. 設計演習コース	「1.ベーシックコース」受講後、⑥～⑨で計算方法と設計プログラムの操作方法を習得し、⑩、⑪、⑫の設計演習課題(1)(2)(3)に挑戦して下さい。

※達成度評価テストは、「1. ベーシックコース」「2. アドバンストコース」「4. 施工演習コース」で受験可能です。いずれかのコースを受講後に受けてください。